

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 自立の里

目 次

◎法人本部	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
-------	------------------	-------

◎障がい福祉サービス事業所 大地

生活介護事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
--------	------------------	-------

相談支援事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	9 ページ
--------	------------------	-------

放課後等支援事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	12 ページ
----------	------------------	--------

放課後等デイサービス	・・・・・・・・・・・・・・・・	14 ページ
------------	------------------	--------

◎障がい福祉サービス事業所 大空

生活介護事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
--------	------------------	-------

居宅介護事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	10 ページ
--------	------------------	--------

短期入所事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	14 ページ
--------	------------------	--------

法人本部

《総括》

- (1) 法人全体の収益構造改善に取り組み、2期連続の決算黒字化を達成することができたものの、年度末にかけての大地生活介護事業における予期せぬ利用者退所等により翌期の収益に不安定さを残した。
- (2) 定例会（メンバーは理事長、業務執行理事、課長）を毎月開催して法人事務局の効率的な運営に取り組んだ。
- (3) 退職者等が多かったが、福祉専門職養成校訪問、求人サイト掲載等の取り組みにより職員の欠員を補充することができた。
- (4) グループホーム運営の可能性について、内部協議、グループホーム見学等を行ったが、資金面及び人材確保面等で課題があるため、結論は現段階では出せておらず、引き続き検討していく。
- (5) BCP（事業継続計画）策定に取り組んだものの、不十分さがあり引き続き検討していく。
- (6) 福岡市からの受託事業である放課後等支援事業について人材確保等の観点から受託継続が困難となり、結果として令和6年度より特定非営利活動法人クックルー・ステップに移管する形となった。

1. 法人事業全体の収益構造改善

財務状況の分析を行い、事業ごとに収益構造の改善に取り組んだ結果、事業活動収支ベースで、法人本部及び短期入所を除く6事業で黒字となり、法人全体においても赤字決算を脱して2期連続で黒字化を実現することができた。

ただし、年度末にかけて大地生活介護事業において、予期せぬ複数の利用者退所（転居、死亡等）及び、令和6年度報酬改定（サービス提供時間ごとの基本報酬の改定等）により翌期において大幅な減収もあり得るなど翌期の収益に不安定さが残った。

2. 法人事務局の効率的な運営

- (1) 月1回、理事長、業務執行理事、課長による定例会を開催することにより、法人に生じた課題についてその都度協議し、法人としての意思決定を迅速かつ円滑に行うことができた。
- (2) 退職、産休等による職員の欠員補充について、福祉専門職養成校訪問、求人サイトへの掲載等を行い、随時、見学対応、面談等を行った結果、必要人員を確保することができた。

3. 親なき後について、法人としての対応を協議する

- (1) グループホーム事業の可能性について検討を行うために、日中サービス支援型グループホーム運営についての勉強会及び他法人のグループホームの見学を行ったものの、資金面及び人材確保面での課題は依然として大きい。
- (2) 利用者の他法人のグループホーム入居時及び入居後において、利用者に対し積極的に相談支援事業等と連携して情報提供を行うとともに支援を行った。

(3) 相談支援事業において、親の高齢化に伴い、親なき後を見すえ、専門職後見人につなげるなど積極的に利用支援を行った。

4. その他

(1) 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行したが、引き続き感染対策を実施した。

(2) BCP（事業継続計画）策定に取り組んだが、法人内で進捗状況にばらつきがみられるとともに、不十分さがあり、今後充実させていく必要がある。

(3) 消防計画、非常災害対策計画、避難確保計画等に基づき、防災訓練等を年3回実施し、防災対策の強化を行った。

(4) ホームページの更新は、当年度にはできなかったが、令和6年度において予算確保の上、人材確保等を目的としホームページ及び広報誌を一新することとした。

5. 評議員会 開催状況

回数	開催日	議 題
定時 評議員会	6月23日	(1) 審議事項 ・第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について ・第2号議案 理事及び監事の選任について (2) 報告事項 ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・基幹相談支援センターについて

6. 理事会 開催状況

回数	開催日	議 題
第1回	6月7日	(1) 審議事項 ・第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について ・第2号議案 理事・監事の候補者について ・第3号議案 令和5年度定時評議員会の招集について (2) 報告事項 ・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について ・基幹相談支援センターについて
第2回	6月23日	(1) 審議事項 ・第1号議案 理事長及び業務執行理事の選定について ・第2号議案 放課後等支援事業について

回数	開催日	議 題
第3回	3月22日	(1) 審議事項 ・第1号議案 令和5年度補正予算(案)について ・第2号議案 令和6年度事業計画(案)について ・第3号議案 令和6年度収支予算(案)について ・第4号議案 定款変更について ・第5号議案 経理規程の改正について ・第6号議案 組織規程の改正について (2) 報告事項 ・職務執行状況報告(理事長) ・職務執行状況報告(業務執行理事) ・行政監査の結果について ・グループホームの検討状況について(追加報告)

7. 社会福祉法人等指導監査

実施日	令和5年8月31日(木)
実施者	福岡市福祉局高齢社会部事業者指導課
結果	経理において「契約について：継続的な取引である給食業務について、経理規程第71条に基づく定期的な見直しを行う際には、法人・施設としての意思決定の経緯がわかるようりん議書等を作成・保存してください。」との指摘があった。

8. 寄贈寄附

(1) 寄附金

区 分	件数(件)	金額(円)
本 部	2	200,000
大地	6	241,000
大空	1	100,000
合 計	9	541,000

(2) 寄贈

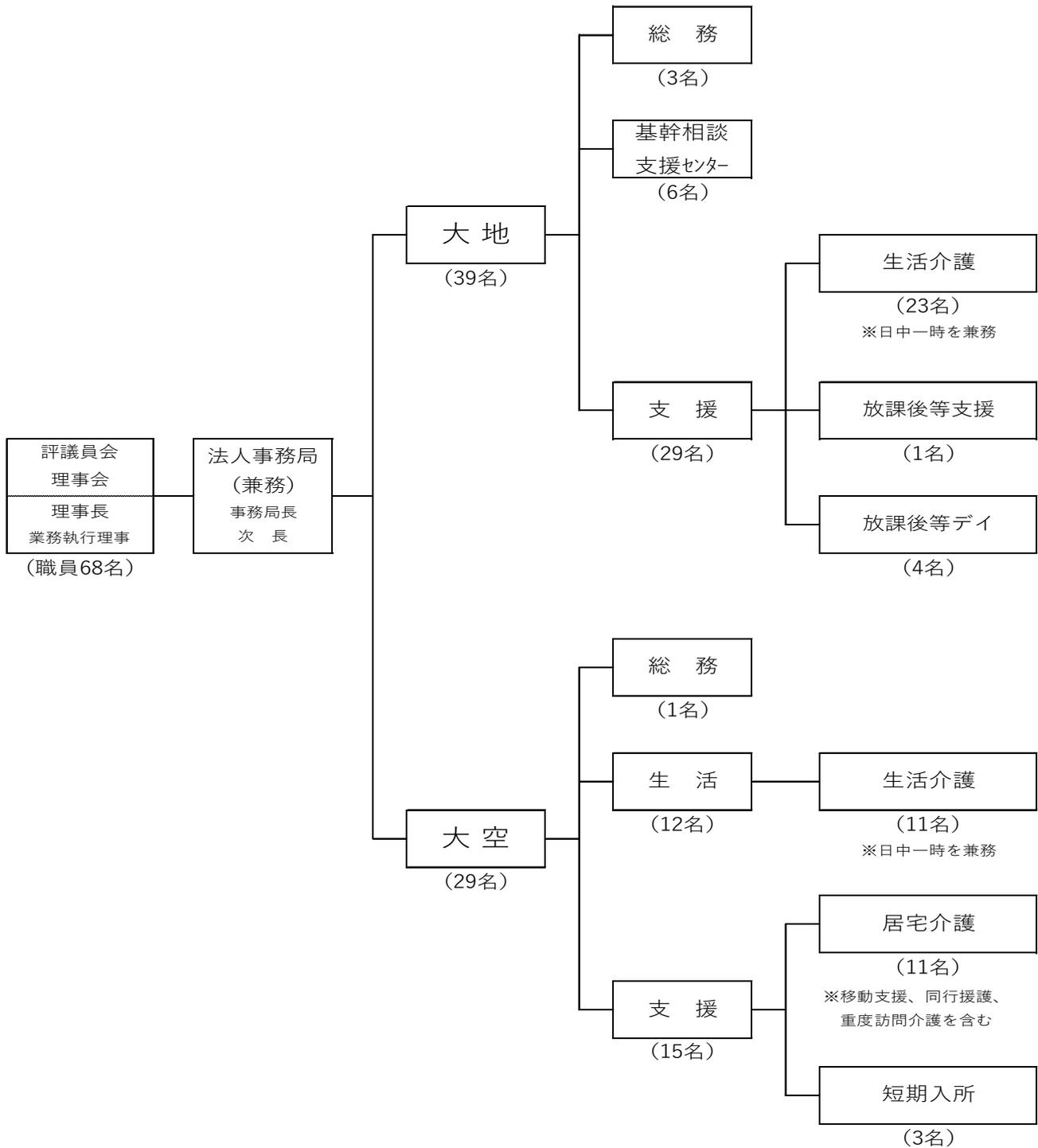
区 分	件数(件)	備品
大地	2	クリスマスケーキ、ちりめん押絵

9. 職員の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 組織図

(参考) 社会福祉法人 自立の里 組織図

※ () は令和5年度予算
職員数 (パート除く)



令和5年度

社会福祉法人 自立の里

障がい福祉サービス事業所 大地

事業報告

〈総括〉

1. 生活介護事業

令和5年度は利用率の底上げを図り、新規利用者を4名受け入れた。大地の生活介護としては契約者数過去最多の利用者51名で年度を開始したが、利用者の体調不良やグループホーム入所に向けた体験利用関連のショートステイの利用などで通所日数が下がり、年度末12月頃からは死亡、入所、引っ越し、家庭の事情により5名の退所者が生じた。今後は大幅な減収が予測される為、新規利用者の獲得に力を入れたい。

2. 相談支援事業

「総合相談に対応できる人材育成及び専門性の向上」は、ケース会議の定期開催、スーパービジョンを行った。精神病院や入所施設からの地域移行、経験年数や得意分野に応じた人材育成が今後の課題となる。「地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築」は地域課題検討、相談支援ネットワーク会議、業種ごとのネットワーク会議、精神保健福祉ネットワーク会議等に取り組んだ。「地域福祉の基盤づくり」は広報誌発行、民生委員児童委員協議会、地域生活支援拠点部会参加、東区と博多区の協働によるSEネット（重心・医ケアねっと）を開催した。「ICT等の活用と働きやすい環境づくり」は個人情報保護研修、データ持出対策の措置、災害や感染症の対応力の向上、新規採用職員のメンタルヘルスケア等に取り組んだ。

3. 放課後等支援事業（ルームみなみ）

「利用者確保のための連携強化」は、年度途中の責任者退職のため、業務引継と円滑な運営に注力せざるをえなかった。「有意義な活動の場の提供」は、壁紙創作、個々のニーズに応じた備品購入、写真付日記等に取り組んだ。「サービスの質の向上」は、支援内容の見直し、虐待防止研修を実施した。「事業継続に向けての検証と準備」は人材不足等の要因から委託契約の更新を断念して他法人に事業を移管することとなった。

4. 放課後等デイサービス

「安定した事業収支を目指した取り組み」は、土曜日毎週開所、重心児の3名の新規利用者受入により2期連続で黒字となった。医療的ケア児は受入体制が不十分であり利用をお断りすることもあった。「専門性の高い支援力の向上」は、ケース検討会議、季節イベントに応じた制作物作成、外出機会を増やす等の取り組みを行った。「広報力、対外関係との繋がり強化」は、SEネット会議、担当者会議の参加を行った。インスタグラムやホームページ更新の滞りが課題となっている。「法人の各事業との業務連携」は、生活介護の見学や実習、居宅介護利用等に繋げることができた。

生活介護

1. 親なきあとを見据えた自立支援

- (1) 保護者との面談時に親なきあとの生活を見据えたニーズの聞き取りを実施。
- (2) 利用者本人及びご家族と話し合い、将来のグループホーム等での生活を見据えた上で必要となる課題を計画に入れ、日中支援の中でトレーニングを実施した。
- (3) 利用者本人及びご家族にグループホームや短期入所等の見学を勧め、親なきあとのイメージづくりと準備のサポートを行った。
- (4) 他法人のグループホームに入所されている利用者の悩み相談とメンタルケアを実施。

(5) 利用者と保護者のニーズを踏まえ、入所前及び入所後の利用者への支援を関係者と継続して行っていく必要がある。

2. 家族や各関係機関との連携力を育てる

- (1) 利用者の体調・病気・怪我等などの際には保護者・家族・相談員と連携し、担当者会議を実施した。その際には各関係機関と情報共有及び今後の支援の方向性などを整理した。
- (2) 利用者の体調面などに不安がある際は保護者と連携して医療機関への確認を行った。

3. 職員の指導・育成

- (1) スキルアップと職員の課題解決・向上を目的とした研修を実施。
- (2) ヒヤリハット事例や事故が発生した際は、当事者職員へのフィードバックと現場職員での事例検証、啓発を行い、職員の更なるスキルアップを図った。
- (3) 職員全員で集まる研修が実施出来ていない為、今後は計画の上、実施する。

4. 地域交流及び啓発

- (1) 新型コロナウイルスが落ち着き、4年ぶりに地域交流として施設近隣の学校や保育園などと一緒に秋祭り in みかさが開催された。施設職員は実行委員として携わり、利用者と支援員が数名、玉入れなどのイベントに参加し、近隣の方々との交流を楽しんだ。また、自立の里の販売ブースを設け、利用者の制作したグッズ販売を行った。
- (2) 施設近隣の地域清掃や催しに職員が参加し、地域の方々との交流を深めた。
- (3) 西日本短期大学の学生や先生方との交流授業を行い、障がい者への理解促進と関係性の構築を行った。
- (4) 施設の花の植え替えを外部の施設に依頼し、利用者が植え替え作業を一緒に行いながら他施設の職員及び利用者との交流を図った。
- (5) 地域との関係性が途切れないよう、今後もイベント等へ継続した参加を行っていく。

5. 利用者の増員・利用率の向上

- (1) 保護者面談の際に通所日数についての話を行い、通所日数が減少している方に関しては提案と見直しを行い、通所日の再調整を行った。
- (2) 年度末に想定外の利用者の退所が相次いだ。主な理由としては、引っ越し・入所・死亡・グループホーム転居によるサービスの提供困難などであった。
- (3) 今津特別支援学校のPTAと進路指導の教員と連携し、保護者向けの事業者説明会を開催し、保護者の方々へ自立の里の説明とPRを行った。
- (4) 今後、利用率の向上を図るため、新規利用者の獲得に力を入れていく必要がある。

6. 感染症への柔軟な対応・対策

- (1) マスク着用の徹底を行った。
- (2) 来訪者や来客に対する検温と記録を行った。
- (3) 利用者及び職員本人などの発熱や症状等に対して抗原検査を活用した早期対応と素早い判断を行い、感染拡大を防いだ。

- (4) 衛生委員会等で嘱託医と連携し、医師の見解や判断を参考にしながら、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスなどの感染症の現状を把握し、適宜、施設内での感染予防に取り組んだ。
- (5) 今後も衛生委員会や感染対策委員会などと連携し、感染症への早期対応を行っていく必要がある。

参考資料



【 雑貨 café MOCO CAFE にて 】
ご両親に自らスイーツを運ぶ山下様



【 クリスマス会 】
クリスマスプレゼントを貰って喜ぶ梅野様



【夏祭り】
ワニワニパニック担当の日永田様・石坂様



【秋祭り in みかさ】
地域の人達と玉入れを楽しむ小月様

7. 地域交流イベント

イベント名	開催月日	内 容
西日本短期大学との交流授業	6月・12月	西日本短期大学の学生や先生方との交流授業。西日本短期大学との交流や障がい者への理解促進、関係性の構築を行った。

8. 月別利用実績（定員40人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数（日）	22	23	22	22	23	22
契約者数（人）	51	51	51	51	51	51
平均利用者数（人）	40.8	38.8	39.8	38.3	37.9	36.3
利用率（%）	80.0	76.0	78.1	72.3	70.5	71.2

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数（日）	23	22	23	22	21	23
契約者数（人）	51	51	51	49	48	48
平均利用者数（人）	35.7	37.2	37.2	34.2	35.5	36.2
利用率（%）	70.1	73.0	73.0	69.8	73.9	75.5

9. 年度別利用実績

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開所日数（日）	268	266	265
契約者数（人）	50.3	46.8	45.1
月平均延べ利用者数（人）	834	837	834
平均利用者数（人）	37.3	37.6	37.3
利用率（%）	73.6	80.3	82.8

10. 土曜等のイベント状況

実施日	名称	内容	利用者の参加者（人）
4月8日（土）	歓迎会	お菓子を食べながら新しい利用者の紹介や歓迎会を行った。	36/51
5月27日（土）	デイキャンプ	大地の敷地内でテントやタープを立て日中BBQやキャンプを楽しんだ。	38/51
7月29日（土）	展覧会	テーマを決めて制作した利用者の作品を大地内に展示した。	38/51
8月19日（土）	夏祭り	施設内の人だけで屋台などを開き、祭りの雰囲気や季節感を楽しんだ。午後は演奏者を呼んでコンサートを楽しんだ。	42/51
9月16日（土）	発表会	テーマを決め、各グループで出し物や発表を行い、皆と交流を図った。	38/51
10月14日（土）	ボッチャ大会 2023	施設内でボール競技である「ボッチャ」を使用した大会を開催した。	36/51

実施日	名称	内容	利用者の参加者(人)
10月28日(土)	ハロウィン企画	皆で仮装し、ミニゲームを通してお菓子を貰いながらハロウィンを楽しんだ。	37/51
11月11日(土)	秋祭り in みかさ 2023	施設近隣(隅田町内)の地域交流として秋祭りを実施。バザーやイベントが実施された。	38/51
12月23日(土)	クリスマス会	クリスマスプレゼントの贈呈と頂いたクリスマスケーキを皆で味わい、楽団による音楽鑑賞を楽しんだ。	40/51
1月6日(土)	二十歳を祝う会	施設内で20歳を迎える利用者とその家族を祝う会を行った。	36/49
2月10日(土)	雑貨 café MOCO CAFE	各グループでスイーツを作り競うスイーツコンテストを実施した。	38/48
3月30日(土)	お疲れ様会	1年間おつかれさまを込めて、施設内の人と交流し楽しんだ。	37/46

1.1. 健康管理実施状況

実施日	内容	実施者	人数(人)
6月30日(金)	職員健康診断	福岡労働衛生研究所	職員 30名
10月16日(月) ～10月31日(火)	腰痛検査	伊藤整形外科 伊藤医師	職員 24名
11月7日(火)	インフルエンザ予防接種	徳永医師 (嘱託医)	利用者 15名 職員 2名
12月20日(水)	利用者健康診断	徳永医師 (嘱託医)	利用者 50名

1.2. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：昇地 勝人 氏

日付	グループ
4月25日(火)	B(女性)
5月23日(火)	A(男性)
6月20日(火)	A(男性)
7月18日(火)	B(女性)
8月22日(火)	A(男性)

(2) 作業療法(OT) 講師：原田 靖子 氏

日付	グループ
4月13日(木)	B(女性)
5月11日(木)	A(男性)
6月8日(木)	B(女性)
7月6日(木)	B(女性)
8月10日(木)	A(男性)

日付	グループ
9月19日(火)	A(男性)
10月24日(火)	A(男性)

日付	グループ
9月7日(木)	A(男性)
10月12日(木)	A(男性)
11月9日(木)	B(女性)
12月7日(木)	A(男性)
1月11日(木)	A(男性)
2月8日(木)	B(女性)

13. 派遣研修実施報告

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
5月13日(土)	からだの動きキャンプ	今津特別支援学校 うごきの部屋	1
6月29日(木)	福岡県児童発達支援管理責任者研修	福岡県社会福祉士会	1
7月6日(水)	メンタルヘルス対策セミナー	福岡労働局	1
8月31日(木)	はかた暮らしネットワーク会議 ～弁護士によるハラスメント研修～	博多区部会事務局	1
9月15日(金)	働く人人権研修	福岡市人権啓発センター	1
10月26日(木)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	福岡県社会福祉協議会	2
8月26日(土) 27日(日)	福岡県児童発達支援管理責任者研修 ～実践研修～	福岡県社会福祉士会	1
1月19日(金)	生活介護部会 ～意思決定支援と権利擁護～	福岡市民間障がい施設協議会	2
3月21日(木)	重症心身が部会 ～看護師の役割と生活支援員との連携について深堀する～	福岡市民間障がい施設協議会	2

14. 内部研修

(1) 新入社員研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
9月7日(木)	新入職員研修① 職員処遇/庶務関係の諸手続き/収入支出	栗田主任(大地)	6
9月14日(木)	新入職員研修② 障がい者福祉の歴史と制度/法人設立の経緯・歴史	石橋課長(大地)	5

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
9月22日(金)	新入職員研修④ 医療面での障がい者の特性・注意点等	大楠看護師(大地) 境看護師(大空)	6
9月29日(金)	新入職員研修③ 障害者総合支援法のサービス/自立の里の事業概要	石橋課長(大地) 久保田課長(大空) 長澤センター長(第2基幹)	5

(2) 職員研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
4月6日(木)	利用者それぞれの障がいを理解する ～利用者F・T様～ (Eラーニング研修)	内部講師	21
4月10日(月)	虐待防止研修 ～山口県下関市で起きた事件から学ぶ～ (Eラーニング研修)	内部講師	21
6月7日(水)	トイレ介助技術向上研修 ～紙パンツ着用の介助での注意点 (Eラーニング研修)	内部講師	21
6月19日(月)	社内問題の解決方法について (Eラーニング研修)	内部講師	21
8月17日(木)	男性利用者の尿パッドの正しい装着方法 について① (Eラーニング研修)	内部講師	21
8月25日(金)	利用者に合わせたコミュニケーション方法 ～利用者S・M様の場合～ (Eラーニング研修)	内部講師	21
8月31日(木)	男性利用者の尿パットの正しい装着方法 について② (Eラーニング研修)	内部講師	21
10月10日(火)	実習前面談を行う上で支援員としての注意 点とポイント (Eラーニング研修)	内部講師	22

※Eラーニング研修…インターネットを通じて学習や研修を行うことです。スマートフォンなど身近なデジタル機器を利用して受講します。

(3) 大空との合同研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
11月21日(火)	動作法講義「症例ビデオ解説・動作法基礎知識」	昇地 勝人 氏	10
2月13日(火)	動作法講義「症例ビデオ解説・動作法基礎知識」	昇地 勝人 氏	8

15. 消火・通報・避難訓練

日 程	訓練種別	参加人数 (人)
5月26日 (金)	総合訓練 (水害・通報及び避難誘導)	利用者 40名 職員 30名
11月24日 (金)	総合訓練 (部分訓練・消火・通報及び避難誘導)	利用者 34名 職員 33名
3月26日 (火)	総合訓練 (部分訓練・消火・通報及び避難誘導)	利用者 37名 職員 33名

16. 支援活動参観

※ 別紙「令和5年度 支援参観ご家族アンケート」参照

17. 利用者アンケート

※ 別紙「令和5年度 利用者満足度調査アンケート」参照

18. 日中一時支援

令和5年度の月平均利用件数は1.1件、年間利用件数は13件となった。前年度の月平均利用件数は1.6件の為、月平均利用件数が若干減った。

月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
市内 在住	障がい者	2	1	0	3	0	1	1	1	1	0	1	0	11	13
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市外 在住	障がい者	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

相談支援

1. 総合相談に対応できる人材の育成及び専門性の向上

- (1) ケース検討会議を週1回程度開催した。
- (2) 所内でのスーパービジョン（指導、助言等）を通じて人材育成を行い、地域の相談支援事業所に対し年2回グループスーパービジョンを実施した。
- (3) コーディネーター2名体制で利用者への相談対応等の体制を組み、相互の学び合いを促進した。
- (4) 精神科病院や入所施設等から地域移行への働きかけは、不十分であった。
- (5) 地域の障がい児者の福祉全般に関する相談における相談者の傾向分析及び経験年数や得意分野に応じた人材育成が必要。

2. 地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築

(1) 博多区部会

委員：福祉・介護保険課、健康課、博多高等学園、南福岡特別支援学校、博多障がい者フレンドホーム、社会福祉協議会、福岡市発達障がい者支援センター

オブザーバー：東福岡特別支援学校、福岡市基幹相談支援センター

実施日	名称	主な協議内容
5月18日	第1回	地域課題「夫婦ともに障害があり支援が必要な世帯の妊娠・出産・子育て」
7月20日	第2回	地域課題「重症心身障がい者の親なき後の問題」
9月21日	第3回	地域課題「精神疾患の病識がなく、周りが対応に疲弊しているが関われる支援者が限られる」
11月17日	第4回	地域課題「登校しないあるいはしたくともできない障がいのある児童について」、スクールソーシャルワーカーをオブザーバーとして招いた。
1月18日	第5回	地域課題「問題行動をくり返す軽度知的障がいのある方の支援」
3月26日	第6回	地域課題「医療的ケアの必要な方の居住の場について」

(2) ネットワーク構築

①相談支援事業所ネットワーク会議

相談支援ネットワーク会議を3回実施し、地域の指定特定相談支援事業所のスキルアップと人材育成を行った。

実施日	名称	内容
7月20日	第1回	いきいきセンター合同事例検討会
10月25日	第2回	福岡市若者総合相談センター（ユースサポート hub）講師 「若者への相談支援の在り方について考える」
2月9日	第3回	多様なナチュラルサポートを考える会コラボ企画

②業種ごとのネットワーク構築

住まいや生活に関わるさまざまな機関が交流する機会として、生活介護、短期入所、居宅介護、グループホーム、相談支援を対象に研修会を実施した。

実施日	名称	内容
5月24日	短期入所を学ぼう！2	短期入所、相談支援専門員向け
8月31日	第1回はかた暮らしネットワーク会議	『弁護士とケースで学ぶハラスメント研修 ～あなたのお悩みスパ★と解決～』
9月7日	短期入所を学ぼう！3	短期入所、相談支援専門員向け
2月1日	第2回はかた暮らしネットワーク会議	「災害が発生した場合に障がい福祉サービス事業所としてどうすべきか」

③精神保健福祉ネットワーク会議

実行委員会にて、精神保健福祉ネットワーク会議の企画立案を行った。

実施日	名称	内容
2月16日	精神保健福祉ネットワーク会議	「心の病気で休んだ時のお金の話」

3. 地域福祉の基盤づくり

(1) 啓発活動

広報誌を年4回発行。校区担当制により民生委員児童委員協議会に参加して、地域で抱える課題の掘り起こしとその解決に努めた。また、令和5年度より地域生活支援拠点等の整備の促進や機能の充実に向けて関係機関との連携を図るため、地域生活支援拠点検討部に委員として参加した。

(2) 東と博多の重心・医ケアねっと（SEねっと）

重心・医ケア児者の支援に関する機関を招集し、定期的に会議を開催した。また、広報活動として、令和5年9月10日に‘SEねっとフェスタ’を開催した。

(3) 職員の教育・研修の充実

実施日	研修名 及び テーマ	参加者 (人)
4月26日	"区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修「インテーク、アセスメント」"	1
4月15日	地域で暮らす重度者の生活保障を考える講演会・シンポジウム	1
5月19日	福岡コージネット 2023年度基礎研修会 「高次脳機能障害の基礎知識」	1
6月23日	ソーシャルワーク実習 新カリキュラム説明会	1
7月31日	令和5年度福岡市障がい者虐待防止研修	2
7月28日	3センター合同研修会	1
8月3日	令和5年度第1回福岡市ひきこもり支援者等ネットワーク会議	1
6月22日	精神保健福祉士実習指導者講習会	1
9月25日	強度行動障がい支援者養成研修 基礎研修	1
9月20日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修触法 スキームと構成支援計画作成のポイント	1
10月30日	事例検討会	1

実施日	研修名 及び テーマ	参加者 (人)
8月1日	第2回さわら障がい福祉ネット	1
9月26日	令和5年度 博多区要保護児童支援地域協議会研修会	1
8月31日	第1回医療的ケア児等コーディネーター ネットワークの発足と開催	1
10月31日	令和5年度成年後見制度における市町村長申立等研修会	2
9月12日	第1回 博多区第7圏域連携会議	2
9月4日～9月22日	令和5年度 九州ブロック主任相談支援専門員養成研修会	2
9月26日～9月28日	就労フォーラム	2

(4) ICT等の活用と働きやすい環境づくり

- ① 個人情報保護の徹底の観点から、全職員に対し個人情報保護研修を行うとともに、相談支援システムについて、データの持出しができないような措置を講じた。
- ② オンライン研修への参加や関係機関との連絡方法を工夫し、災害や感染症への対応力を強化した。
- ③ 新規採用職員に対するメンタルヘルスケアに配慮した。

放課後等支援（ルームみなみ）

1. 利用者の確保のための学校及び保護者との連携強化

- (1) 年度中途に責任者が急遽退職したため、その業務の引継と円滑な運営に注力せざるを得なかった。
- (2) 保護者説明会や南福岡特別支援学校の入学説明会で利用者確保の働きかけを行ったものの、教職員との意見交換や医療的ケアが必要な児童・生徒受入にかかる検討までに至らなかった。

2. 有意義な活動の場の提供

- (1) 利用者と一緒に、各月のテーマに基づいて壁紙を創作した。
- (2) 利用者のニーズに応じて創作用具、タブレット、ブルーレイレコーダー等を購入して、個々に応じた活動に必要な備品を整備した。
- (3) 活動内容を写真付きの日記にして、利用者や職員と思い出の振り返りを行った。

3. サービスの質の向上

- (1) 保護者に対するヒアリング実施によりニーズを再調査し、利用者の活動内容やコミュニケーション支援を見直した。
- (2) スタッフを対象に虐待防止研修を実施して人権尊重の精神を培った。

4. 事業継続に向けての検証と準備

- (1) 委託契約の更新を断念し、平成6年度から事業を特定非営利活動法人クックルー・ステップに移管することとなった。
- (2) 移管にあたっては、業務の円滑な引継がなされるよう、クックルー・ステップと、これまでの事業の課題を共有した。

5. その他

- (1) 職員不足に対応するために、派遣職員を雇用せざるを得なかった。
- (2) 兼務や新人スタッフが直ちに支援に入れるよう、作業手順について写真付きの職員マニュアルを作成するとともに業務内容を整理した。

6. 行事の実施状況

実施日（期間）	内 容
4月	お花見（壁面飾り）
5月	こいのぼり（壁面飾り） 御笠川こいのぼり見学（イベント）
6月	梅雨、あじさい（壁面飾り）
7月	七夕（壁紙飾り）、水遊び
8月	海、花火、夏休み（壁面飾り）、夏休みの宿題（自由研究）
9月	お月見（壁面飾り）
10月	ハロウィン（壁面飾り） ハロウィンパーティー（イベント）

実施日（期間）	内 容
11月	食欲の秋、読書の秋（壁面飾り）
12月	クリスマス（壁面飾り）
1月	新年（壁面飾り）
2月	節分、バレンタインデー（壁面飾り）、
3月	ひな祭り、ホワイトデー、卒業、春休み（壁面飾り） 進級祝い（保護者の会）

7. 利用実績【年間利用延べ人数：757人／前年比：-50人（-6.2%）】 単位：人

項目\月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数（日）	289	23	24	27	25	24	24	25	23	24	22	23	25
利用人数（人）	757	59	60	58	70	77	47	63	52	63	63	63	82
※キャンセル（回）	32	5	1	2	7	5	3	3	1	3	1	1	0
1日平均利用数（人）	2.5	2.3	2.5	2.1	2.5	3.0	1.8	2.4	2.2	2.5	2.8	2.7	3.3

※利用人数及び1日の平均利用数にはキャンセルを含まない。

8. 利用者の契約状況【契約者数：13人／本年度増減なし ※高等部卒業生なし】 単位：人

項目/学部・性別	合 計		小学部		中学部		高等部	
	男	女	男	女	男	女	男	女
契約者数	6	7	3	5	2	1	1	1
実利用人数	4	4	1	2	2	1	1	1

※実利用人数とは、1年間に1回以上利用した方の数

※参考

単位：人

項目\年度	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29
開所日数（日）	289	290	290	293	278	289	291
契約者数（人）	13	14	18	18	16	18	23
利用人数（人）	757	807	968	950	1,071	976	1,425
※キャンセル（回）	32	109	144	64	126	91	135
1日平均利用数（人）	2.5	2.8	3.4	3.2	3.6	3.3	4.9

※キャンセル数は、1日平均利用数に含まない

放課後等デイサービス

1. 安定した事業収支を目指した取り組み

- (1) 収支改善への取り組みとして今年度も継続して土曜日の毎週の開所を実施したことと、毎週利用希望の重心児3名が新規利用になったことにより、2期連続で黒字となった。
- (2) 医療的ケア児の利用希望の依頼を受ける機会が多いが、看護師の体制や設備面が十分でない部分があり、現在実施しているケア以外の対応はお断りする事態が数件あった。現在契約中の利用児に新たに医療的ケアが追加されそうな事例もある為、今後もニーズや症例に沿った支援が可能な体制作りが求められる。
- (3) 現在の契約家庭より利用日数を増やしたい希望を受け、令和6年度は毎日定員満了となる予定となった。配置基準や業務内容として有資格者やドライバーが必須となっており、今後、女性職員が産休・育休に入る予定である為、業務に従事可能な人員の確保を維持することが課題となっている。

2. 専門性の高い支援力の向上

- (1) スタッフ全員で利用児に関する検討会議を実施し、話し合った内容を支援計画に反映させ利用児の特性に応じた支援の実施へ繋げた。
- (2) 年間の制作活動のスケジュールを立て、季節やイベントに応じた制作物を作成し、家庭への持ち帰りを行い、家庭での活動の振り返りに繋げることができた。
- (3) コロナが5類へ移行したことに伴い、外出の機会を増やした。夏休みは宮地嶽神社や古賀SAなどへ外出を行った。しかし、利用率が上がったことにより外出の際に十分な人員が賄えていないことも事実であり、冬休み以降は遠出する機会が減ってきている。
- (4) 今年度の報酬改定等の方針により、支援計画に『5領域※』の要素を組み込む必要があり、支援計画の見直しと『だいち』としての特徴ある支援の方向性を定め、支援員が理解しながら提供にあたる必要がある。
※5領域とは・・・発達支援において障がいのある子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするために必要な要素として、本人支援を考えるテーマを「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの分野を定めたことに対しての、それぞれを総合的に称した名称。
- (5) 各利用児の訪問リハビリや訓練施設へPTが出向き、見学を実施。訓練先のセラピストとの繋がりを深め、見学内容を支援へ反映することができた。

3. 広報力、対外関係との繋がりの強化

- (1) 年間通してのSEネットの会議へ参加し、重心児・者に関わる施設の関係者との情報交換を実施。9月にイベントを開催し、他の放課後等デイサービスや発達支援事業の施設と合同でブースを設けて説明を行った。
- (2) 担当者会議参加の際は他放課後等デイサービスの職員との情報共有の場としても活用し、積極的に交流を持ち、利用児の情報共有や意見交換を行っている。
- (3) Instagram やホームページの更新が滞っている為、職員間にて役割分担を行い、更新頻度を増やしていくことを目標に取り組んでいく。

4. 法人の各事業との業務連携

- (1) 卒業後の進路を見据えて、当法人の生活介護への実習や見学の依頼が当利用児から数件あった。利用児の情報の提供に努め、円滑にやり取りができるように努めた。当事業に数名の高校3年生がいる為、令和7年度は当法人の生活介護進路先の候補として繋げていきたい。
- (2) 当法人の居宅介護事業や短期入所事業への利用希望があった際は、利用者情報の紹介を行いサービス利用開始へと数件繋げた。

5. 利用実績【年間利用延べ人数：1,386人／前年比：161人(+11%)】

単位：人

項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開所日数	24	24	26	24	26	24	25	24	24	23	23	25	292(合計)
利用人数	109	116	136	113	114	113	114	114	104	112	117	124	1386(合計)
1日平均利用数	4.5	4.8	5.7	4.7	4.5	4.7	4.6	4.6	4.3	4.9	5.1	4.9	4.7(平均)

6. 契約者状況(令和5年3月31日現在)

(1) 通学先

単位：人

区 分	人 数 (人)
南福岡特別支援学校生	19 (小学部 6、中学部 8、高等部 5)
他支援学校生(東福岡特別支援学校生)	1 (高等部 1)
合 計	20

(2) 男女比 【契約者数：20人／本年度増減なし ※高等部卒業生なし】

単位：人

項目/学部・性別	合 計		小学部		中学部		高等部	
	男	女	男	女	男	女	男	女
契約者数	15	5	4	2	6	2	5	1
実利用人数	13	4	4	2	5	1	4	1

※実利用人数とは、1年間に1回以上利用した方の数

7. 利用状況(各年度末時点)

項目/年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開所日数(うち土曜日)	292 (50)	287 (48)	294 (51)
契約者数	20	20	22
年間延べ利用者数 (うち土曜日)	1386 (206)	1225 (196)	1038 (95)
一日平均利用者数	4.7	4.3	3.5

令和5年度

社会福祉法人 自立の里

障がい福祉サービス事業所 大空

事業報告

障がい福祉サービス事業所 大 空

《総 括》

コロナが 5 類となり、活動やサービスの内容を少しずつ元に戻せるよう、各事業で検討していたが、1 年を通し、利用者や家族、また、職員やその家族に感染者が出た為、サービス提供が滞らないよう、事業間の連携を密に図りながら運営した。

生活介護事業については、4 月に新しく 2 名の利用者を迎え入れ 23 名となったが、1 名の利用者は療養の為に通うことが難しく、また、別の利用者 1 名は年度途中で退所した。利用者 21 名のうち入院される方もいたが、長期に渡ることにはなかった為、数日の療養の後に通所再開となり、平均 18.5 名の方が日々通った。

居宅介護事業については、既存の利用者に対して新たなサービスの提案を行った結果、前年度と比べ、大幅にサービス量を増やすことが出来た。サービス量が増えたこともあり、登録ヘルパーを増やす為に求人情報誌による募集案内を行ったが、新たな採用に繋がることはなかった。

短期入所事業については、利用者のグループホームへの入居や退所等に伴い、利用者が減少した。その分、定期利用者や連泊の受け入れを増やし、キャンセルが出た場合には積極的に利用の案内を行った結果、前年度と比べて利用日数の増加に繋げることができた。

生活介護

1. 毎日、安心して生活する場の提供

- (1) 1 年を通し、支援室や送迎車等の消毒や換気に努めたり、体液の処理をする際は密封して廃棄する等の感染対策を行った。
- (2) 2 週間に 1 回、血圧や体重等のバイタルチェックを行い、1 年分を 1 枚の表にまとめた。また、給食については、毎日、献立表に摂取量を記載した。この 2 種類の表により、家族やヘルパー、主治医等と、本人の体調を共有することが出来た。
- (3) 7 月、コロナ感染により 1 日、大雨警報により 1 日の計 2 日閉所したが、それ以外の 267 日は開所することが出来た。

2. 活動の幅を拡げ、出席を増やす

- (1) 利用者個々の得意なことを活かし、ジェンガやボッチャ、パソコン活動等を提案し取り組んだ。職員講座では正月飾りや水引飾りを作ったり、陶芸の専門家を招致し皿を作った。
- (2) 定期的に立位台や歩行器等を使用したり、ラジオ体操や腕の曲げ伸ばし運動等を行った。
- (3) イベントは、市内の感染状況を鑑み規模を縮小しながらも開催した。外出やクッキングも感染状況を鑑み、頻度は少なかったものの取り組んだ
- (4) 前年度と比較し、延べ 336 名の出席増となった。

3. 職員の育成

- (1) 法人内の新人職員を対象にした全 4 回の初任者研修、生活介護職員対象の月 2 回の専門研究、経験年数に沿った外部研修の参加等により、個々の障がい特性や介助、支援の知識を身に付けた。
- (2) 書類を作成する際は、サポート役の職員が指導を行い、効率を図った。

参考資料



4月 苅北様、一宮様 入所式



1月 佐藤様 二十歳を祝う会



2月 外部講師誘致 陶芸教室



3月 楠本様 『ハンバーグ』
くばらだんだんアート 入賞



3月 吉田様 外部施設での個展

4. 月別利用実績（定員20人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数（日）	22	23	22	21	23	22
契約者数（人）	23.0	23.0	23.0	22.0	22.0	22.0
平均利用者数(人)	19.5	18.4	19.1	18.2	17.7	18.8
利用率（%）	85.0	80.0	83.0	82.7	80.2	85.5

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数（日）	23	22	23	22	21	23
契約者数（人）	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0
平均利用者数(人)	18.5	18.2	18.6	17.2	18.7	19.0
利用率（%）	84.2	82.9	84.6	78.1	85.1	86.2

5. 年度別利用実績

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開所日数（日）	267	264	266
契約者数（人）	23.0	21.0	20.0
月平均延べ利用者数(人)	411	383	386
平均利用者数(人)	18.5	17.4	17.4
利用率（%）	84.0	82.9	87.1

6. 土曜等のイベント状況

実施日	イベント名	内 容	参加利用者(人)
4月 8日(土)	歓迎会	新規利用者2名、異動職員1名を歓迎し、自己紹介や質問をするなどして親睦を深めた。	20 / 23
5月 27日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	2年ぶりに利用者家族を招き、季節の食材イチゴを使ったデザートを作り提供した。	18 / 23
7月 2日(土)	自治会企画 七夕飾り作り	折り紙で飾りを作ったり、願い事を書いた短冊を笹に飾るなどした。	19 / 22
7月 15日(土)	展覧会	テーマを『私の夏』と決め、絵画等の作品を展示した。またグループ作品にも取り組み、それぞれのグループが考えた『夏』を表現した。	15 / 22
9月 2日(土)	コンサート	アーティスト『なんくる一ず』を招き、沖縄楽器の三線の音色を聴いたり、一緒に歌うなどして楽しんだ。	14 / 22
9月 16日(土)	運動会	2つのグループに分かれ、借り物競争や玉入れの競技、勝敗を楽しんだ。	16 / 22
10月 28日(土)	ハロウィン	パンやクッキー・チョコレートなど使ってカップケーキを作り、持ち帰った。	17 / 22
11月 11日(土)	秋祭りin博多 2023	利用者代表の4名は、隅田保育園児による演舞を観覧したり、レクリエーション『玉入れ』に参加した。	17 / 22
11月 18日(土)	発表会	利用者が衣装を身にまとい、参観で来た家族や他の利用者に披露することを楽しんだ。	15 / 22
12月 2日(土)	忘年会	他のグループの利用者と一緒に、レクリエーションを楽しんだ。	18 / 22
12月 23日(土)	クリスマス会	くるみの会からのプレゼントやおおやぎ様からのケーキを受け取り、クリスマスの雰囲気を楽しんだ。	17 / 22
1月 6日(土)	二十歳を祝う会	二十歳を迎える利用者の、幼いころからのスライドショーを流したり、花束贈呈や記念撮影を行い、皆で祝った。	18 / 22
1月 27日(土)	展覧会	テーマを『Old to New ～これまでもこれからも～』に決め、作品の展示を行った。	12 / 22
2月 17日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	コロナ流行の為、量販店のクレープ数種類の中から好きなものを選んで買い、喫食した。	16 / 22
3月 16日(土)	お疲れ様会	今年度頑張った事や楽しかった活動を担当支援員と発表し、1年を振り返った。	18 / 22

7. 健康管理実施状況

実施日	内 容	実施者	人数 (人)	
6月 各日 11月 各日	職員健康診断	福岡赤十字病院 伊藤整形(腰痛検査)	職員 13 職員 10	23
11月14日(木)	インフルエンザ予防接種	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 8 職 員 17	25
12月20日(水)	嘱託医訪問診察 (問診表による状態把握)	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 21	21

8. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：昇地 勝人 氏

日 付	グループ
4月11日(火)	K グループ
5月18日(火)	S グループ
6月13日(火)	P グループ
7月11日(火)	K・Sグループ
8月 8日(火)	K・Pグループ
9月12日(火)	K・Pグループ

(2) 作業療法 (OT) 講師：原田 靖子 氏

日 付	グループ
4月20日(木)	P グループ
5月18日(木)	K・S グループ
6月15日(木)	K・S・Pグループ
7月20日(木)	P グループ
8月17日(木)	K・S グループ
9月21日(木)	S グループ

9. 内部研修実施状況

(1) 専門研究

実施日	研修名 及び テーマ	講 師	参加人数 (人)
4月20日(木)	『新利用者について』	内部講師	7
4月26日(水)	『事業計画について』		9
5月17日(水)	『利用者の食事介助について』		6
5月30日(火)	『虐待研修 1』		8
6月 7日(水)	『自閉症研修 1』		3
6月 8日(木)	『自閉症研修 2』		3
6月21日(水)	『H. K様について』		7
6月28日(水)	『傾聴と報告』		8

実施日	研修名 及び テーマ	講師	参加人数 (人)
7月13日(木)	『M. K様の気持ちについて』	内部講師	7
8月16日(水)	『言葉の奥について』		8
8月24日(水)	『虐待研修 2』		10
8月29日(火)	『虐待研修 2』		5
8月30日(水)	『虐待研修 3』		10
9月12日(火)	『歯磨きについて』		5
9月19日(火)	『アルコールチェック』		8
10月 3日(火)	『虐待研修 3』		4
10月11日(水)	『安全運転』		8
10月18日(水)	『ヒヤリハットについて』		9
11月 9日(木)	『人に伝える』		8
11月16日(木)	『行動の理解について』		8
12月13日(水)	『ノロウイルス・合理的配慮について』		5
12月14日(木)	『伝える・聴き取る』		8
1月18日(木)	『尿取りパッドの吸水の仕方・腰痛予防』		8
1月23日(火)	『個別支援計画』		6
2月26日(火)	『地震が起きたら』		11
2月20日(火)	『モチベーションアップ・車椅子の注意点』		7

(2) 大地との合同研修

実施日	研修名 及び テーマ	講師	参加人数 (人)
11月21日(火)	動作法講義『症例ビデオ解説・動作法基礎知識』	昇地 勝人 氏	7
2月13日(火)	動作法講義『症例ビデオ解説・質問事項回答』		6

10. 派遣研修実施状況

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数 (人)
6月21日(水) 22日(木)	令和5年度社会福祉施設役職員研修 (中堅職員研修 Zoom研修)	福岡県社会福祉 協議会	1
7月24日(水) 31日(金)	今日からできる感染対策 (WEB研修)	福岡県看護協会	1
8月31日(木) 9月27日(水) 10月17日(火) 11月8日(火)	はじめの一步 発達障がいって何だろう 関わりの工夫 ～コミュニケーション～ 子どもとの関わり ～幼児期・学齢期を中心に～ ペアレントメンターによる子育て体験談	福岡市発達障がい 支援センター	1
9月21日(木)	令和5年度 福岡県サービス管理責任者 または児童発達支援管理責任者更新研修	保健福祉振興財団	1
9月27日(水)	安全運転管理者研修	福岡県公安委員会	1
10月18日(水)	令和5年度ホームヘルパースキルアップ研修 重度身体障がい者の移乗介助・福祉用具、コミュニケ ーション支援	心身障がい福祉 センター	1
10月24日(火)	令和5年度第3回福祉レクリエーション研修	福岡市社会福祉 協議会	1
10月24日(火) 25日(水)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (中堅職員コース)	福岡県社会福祉 協議会	1
11月9日(木)	リスクに気づき転倒・転落を予防する (ライブ配信)	福岡県看護協会	1
11月27日(月)	令和5年度利用者・家族とのコミュニケーション力 向上研修	福岡県社会福祉 協議会	1
12月6日(水)	令和5年度感染症予防研修後期 (Zoom研修)	福岡県社会福祉 協議会	1
12月11日(月)	令和5年度メンタルヘルスケア研修 (一般職コース)	福岡市社会福祉 協議会	1
12月12日(火)	令和5年度メンタルヘルスケア研修 (管理者コース)	福岡市社会福祉 協議会	1

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数 (人)
1月10日(水) 11日(木) 2月13日(火)	令和5年度福岡県相談支援従事者現任研修 (更新者コース)	保健福祉振興財団	1
1月12日(金)	令和5年度介護講座災害時に役立つ知識と技術	福岡県社会福祉協議会	1
1月16日(火)	役職者人権研修リスペクトから始めるハラスメント 対策 (Zoom 研修)	福岡市人権問題 企業啓発推進会議	1
1月23日(火)	令和5年度説明力向上研修 (Zoom 研修)	福岡県社会福祉協議会	1
1月26日(金)	令和5年度記録技術研修	福岡県社会福祉協議会	1
2月 2日(金)	令和5年度福祉サービス苦情解決従事者研修	福岡県運営適正化 委員会・福岡県社 会福祉協議会	1
2月 8日(木)	令和5年度業務改善研修	福岡県社会福祉協議会	1
3月 6日(水)	令和5年度業務目標の設定・管理・達成研修	福岡県社会福祉協議会	1

11. 消火・通報・避難訓練

日 程	訓練種別	参加人数 (人)	
10月23日(月)	総合訓練 (消火・通報及び避難訓練)	利用者	16
		職員	13
		警備会社	2
		31	

12. 支援参観

※ 別紙「令和5年度 支援活動参観ご家族アンケート」参照

13. 利用者アンケート

※ 別紙「令和5年度 利用者満足度調査アンケート」参照

日中一時支援

月別利用状況

(単位:人)

利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
事業所内 利用者	—	2	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	5	14
外部 利用者	1	—	—	1	1	1	1	1	1	1	—	1	9	

居宅介護

1. 新規利用者の獲得、収益の向上

- (1) 既存の利用者に対して新たなサービス時間の提案を行い、収益の向上に繋がった。
- (2) 各地域の相談支援センターと連携を図り、新規利用者の獲得に努めた。その結果、4名と契約を行った。
- (3) 前年度と比べてサービス提供時間を680時間程増やすことができ、収益の向上に繋がった。

2. 安定したサービス提供体制の確保

- (1) 求人情報誌による登録ヘルパーの募集案内を行ったが、採用には至らなかった。
- (2) 登録ヘルパーの処遇については、他法人の条件等を参考にした結果、現状維持のサービス時給2,000円（移動待機時間は950円）としたが、求人希望者自体が少なかった。

3. 当日サービスの受け入れ

- (1) 体調不良や天候により当日のサービスが中止になった際に、他の利用者へ電話にてサービスの案内を行った結果、月平均2時間程のサービスを増やすことができた。
- (2) 職員間でサービス時間数に開きがある場合、必要に応じて職員の入れ替えを行い、職員一人ひとりの負担軽減に努めた。

4. 感染症対策の徹底

- (1) サービス時のマスクや手指消毒を徹底したこともあり、事業内での感染拡大は無かった。
- (2) 携帯用のハンドソープやアルコール剤を常備し、サービス提供前の手指洗浄と消毒を徹底した。



◎外食時の様子



◎クリスマスイベントへの参加



◎サザエさん発案の地を散策



◎チャンネルシティ散策

5. 利用者状況

(単位：人)

区 分	人 数
大 空	7 (男性 4、女性 3)
大 地	28 (男性16、女性12)
外 部	29 (男性17、女性12)
合 計	64 (男性37、女性27)

6. 利用状況

(1) 月別事業実績

①身体介護

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	34	37	38	36	38	37
延利用件数 (件)	380	441	436	389	410	412
延サービス時間(時間)	660.5	791.5	748.0	691.0	746.0	692.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	36	36	38	33	38	36	437
延利用件数 (件)	422	431	424	263	407	422	4,837
延サービス時間(時間)	691.5	743.0	804.0	650.0	684.5	716.5	8,619.0

②移動支援

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	22	26	28	24	26	23
延利用件数 (件)	53	60	72	49	47	56
延サービス時間(時間)	176.5	202.0	250.5	180.5	214.5	210.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	28	34	24	25	27	32	319
延利用件数 (件)	70	71	61	59	71	63	732
延サービス時間(時間)	226.0	275.0	223.5	200.5	237.5	244.5	2,641.5

③家事援助

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	0	0	0	0	0	1
延利用件数 (件)	0	0	0	0	0	1
延サービス時間(時間)	0	0	0	0	0	0.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	0	0	0	0	1	0	2
延利用件数 (件)	0	0	0	0	1	0	2
延サービス時間(時間)	0	0	0	0	1.5	0	2.0

④有償サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	2	2	3	2	2	3
延利用件数 (件)	5	6	18	7	11	6
延サービス時間(時間)	5.0	3.5	30.5	10.5	13.5	16.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	3	3	1	3	2	3	29
延利用件数 (件)	12	15	6	10	9	11	116
延サービス時間(時間)	21.0	22.5	5.0	11.5	15.5	12.0	167.0

(2) 年度別事業実績の推移

①合計

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実利用者数 (人)	787	748	711
延利用件数 (件)	5,687	5,720	5,701
延サービス時間(時間)	11,429.5	10,743.5	11,231.5

②月平均

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実利用者数 (人)	65.6	62.3	59.3
延利用件数 (件)	473.9	476.7	475.1
延サービス時間(時間)	952.4	895.3	935.9

7. 内部研修実施状況

実施日	研修名	講師	参加者(人)
4月19日(水)	挨拶について	内部講師	10
5月17日(水)	障がい福祉制度、大空の事業内容について		8
6月16日(金)	利用者別対応方法について		9
7月21日(金)	利用者別対応方法について		8
8月30日(水)	障がい者虐待防止・身体拘束研修		9
9月15日(金)	障がい者手帳の種類と受給者証について		10
10月23日(月)	利用者別対応方法について		7
11月17日(金)	発達障がいの基本的な特性・対応と留意点		9
12月15日(金)	言葉のリフレーミングについて		10
1月26日(金)	利用者別対応方法について		10
2月29日(金)	在宅で介護を担う家族を支える為に アンガーマネジメント研修		9
3月15日(金)	強度行動障がい研修 シャンプーイング研修		10

8. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
5月24日(水) 5月25日(木)	社会福祉施設役職研修新任研修	福岡県社会福祉協議会	1
9月6日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
9月22日(金)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
9月27日(水)	はじめの一步	福岡市社会福祉事業団	1
10月18日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
10月25日(水)	障がい福祉サービス事業所向け虐待防止研修	福岡市障がい者基幹相談支援センター	1
12月19日(火)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
12月7日(木) 2月22日(木)	事業継続計画(BCP)策定支援研修	福岡県社会福祉協議会	1
12月26日(火) 1月18日(木) 1月19日(金) 2月26日(月)	福岡県相談支援従事者現任研修	保健福祉振興財団	1
2月7日(水)	福祉サービス苦情解決従事者研修	福岡県社会福祉協議会	1

短期入所

1. 利用者が安心して宿泊できるサービスの提供

- (1) 異動配属された職員や兼務で入る職員に対して、利用者毎の引継ぎ書を作成して情報を共有し、介助方法の統一を図る等をして、利用者が安心して過ごせるように努めた。
- (2) 居室内の消毒や掃除を徹底し、感染症対策に努めた。その結果、令和5年度は、事業内で感染症等が流行することはなかった。

2. 利用日数の増加及び収益の向上

- (1) 利用予定者よりキャンセルの連絡があった際には、他の利用者への案内を積極的に行った。その結果、前年度と比べて25件、84日間の利用が増えた。
- (2) グループホームへの入居者が増えたこともあり、一時的に利用者数は減ったが、定期利用者を増やす為に2泊や3泊の案内を積極的に行ったことで、利用者増に繋がった。
- (3) パート職員の補充や勤務形態の見直し等を検討したが、実施には至らなかった。



◎居室でのリラクゼーション



◎朝のラジオ体操



◎夕食時の様子



◎トランプを楽しむ様子

3. 利用状況

(単位：件)

区 分		男 性		女 性		合 計	
4 月	1泊2日	32		17		49	
	2泊3日	4		2		6	
	3泊4日		36	1	20	1	56
5 月	1泊2日	31		19		50	
	2泊3日	8		3		11	
	3泊4日		39	1	23	1	62
6 月	1泊2日	35		16		51	
	2泊3日	6		3		9	
	3泊4日	1	42		19	1	61
7 月	1泊2日	31		18		49	
	2泊3日	8		1		9	
	3泊4日		39	1	20	1	59
8 月	1泊2日	33		15		48	
	2泊3日	6		6		12	
	3泊4日	2	41		21	2	62
9 月	1泊2日	27		21		48	
	2泊3日	4		3		7	
	3泊4日			1		1	
	6泊7日	2	33		25	2	58
10 月	1泊2日	33		12		45	
	2泊3日	4		6		10	
	3泊4日	2	39	2	20	4	59
11 月	1泊2日	29		15		44	
	2泊3日	8		2		10	
	3泊4日	1	38	2	19	3	57
12 月	1泊2日	29		20		49	
	2泊3日	9		4		13	
	3泊4日	1	39	1	25	2	64
1 月	1泊2日	26		14		40	
	2泊3日	4		3		7	
	3泊4日	1	31	2	19	3	50
2 月	1泊2日	25		18		43	
	2泊3日	8		2		10	
	3泊4日		33	2	22	2	55

区 分		男 性		女 性		合 計	
3 月	1泊2日	25	33	23	24	48	57
	2泊3日	8		1		9	
合 計	1泊2日	356	443	208	257	564	700
	2泊3日	77		36		113	
	3泊4日	8		13		21	
	6泊7日	2				2	
月間平均利用者数		36.9		21.4		58.3	

4. 利用者の利用状況

(単位：人)

区 分	男 性	女 性	合 計
大 地	260	165	425
大 空	163	83	246
外 部	20	9	29
合 計	443	257	700

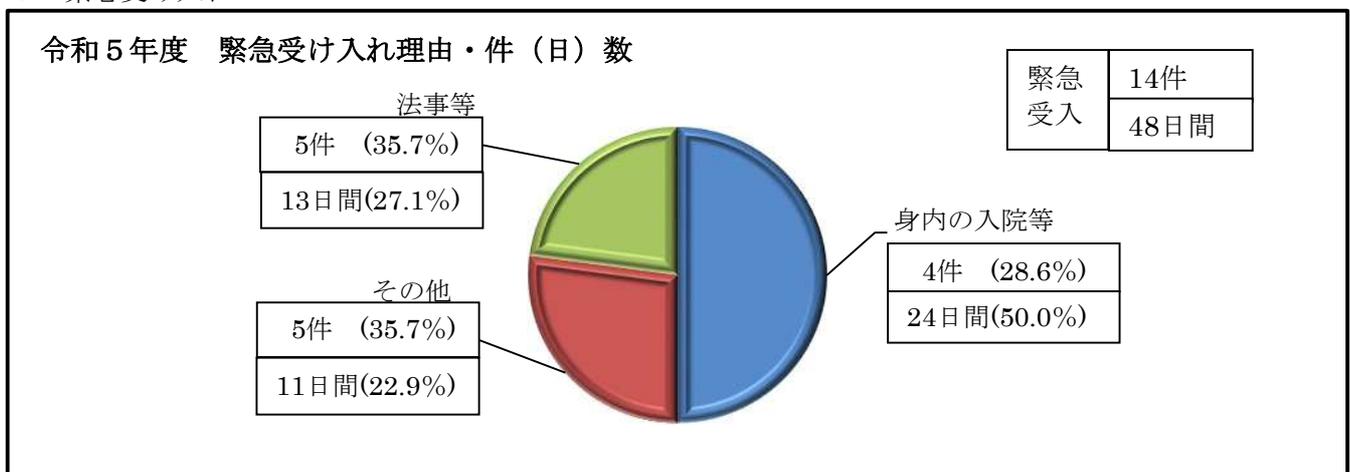
5. 利用状況の推移（令和3年度～令和5年度）

(単位：件)

宿泊日数	5年度		4年度		3年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1泊 2日	356	208	381	183	291	175
	564 (1,128日)		564 (1,128日)		466 (932日)	
2泊 3日	77	36	49	45	84	31
	113 (339日)		94 (282日)		115 (345日)	
3泊 4日	8	13	9	6	20	3
	21 (84日)		15 (60日)		23 (92日)	
4泊 5日	0	0	1	0	2	0
	0		1 (5日)		2 (10日)	
5泊 6日	0	0	1	0	0	0
	0		1 (6日)		0	
6泊 7日	2	0	0	0	0	0
	2 (14日)		0		0	
7泊 8日	0	0	0	0	0	2
	0		0		2 (16日)	
11泊 12日	0	0	0	0	1	0
	0		0		1 (12日)	

宿泊日数	5年度		4年度		3年度	
1泊 2泊 3泊	男性	0	男性	0	男性	0
	女性	0	女性	0	女性	1 (13日)
合計	男性	443	男性	441	男性	397
	女性	257	女性	234	女性	212
	内 緊急受入れ 14 (2.0%)		内 緊急受入れ 18 (2.7%)		内 緊急受入れ 25 (4.1%)	
月間平均	58.3		56.2		50.8	

6. 緊急受け入れ



7. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
6月26日(月)	ストレスマネジメント研修	福岡県社会福祉協議会	1
11月27日(月)	利用者・家族とのコミュニケーション力向上研修	福岡県社会福祉協議会	1

8. 職員の勤務状況

(単位：回)

月	夜間勤務			宿直勤務			日中勤務(土,日,祝)			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	16	9	25	8	9	17	5	3	8	29	21	50
5月	17	11	28	14	8	22	10	3	13	41	22	63
6月	19	10	29	17	6	23	10	4	14	46	20	66
7月	17	9	26	14	7	21	9	5	14	40	21	61
8月	18	13	31	14	6	20	8	7	15	40	26	66
9月	19	14	33	10	4	14	7	6	13	36	24	60
10月	17	11	28	14	7	21	9	6	15	40	24	64
11月	17	10	27	14	7	21	8	4	12	39	21	60
12月	18	11	29	14	7	21	7	3	10	39	21	60
1月	16	10	26	10	5	15	3	3	6	29	18	47
2月	15	10	25	9	4	13	5	3	8	29	17	46
3月	16	10	26	12	5	17	3	5	8	31	20	51
合計	205	128	333	150	75	225	84	52	136	439	255	694
月間平均	17.1	10.7	27.8	12.5	6.3	18.8	7.0	4.3	11.3	36.6	21.3	57.8

※夜間(17時～9時)・宿直(19時～9時)勤務は1泊2日で1回。日中(9時～18時)勤務は、1日で1回。